



Q 国の仕事に関する相談や苦情の窓口はありますか？

A かすみがうら市の行政相談委員または「行政苦情 110 番」にご相談ください。



行政相談
シンボルマーク

行政相談委員は国民の身近な相談相手です

毎日の暮らしの中で、国の仕事などについての苦情や要望はありませんか。全国には、約5,000人の行政相談委員が、皆さんからの苦情などをお聴きしています。ご相談は、口頭、電話、手紙のいずれの方法でも結構です。無料で、秘密は厳守しますので、お気軽にご相談ください。

このようなときはご相談を！

- 手続・サービスなどについて制度や仕組みが分からない。
- 苦情を申し出たが、説明や措置などに納得がいかない。
- 苦情がある、困っていることがある。
- どこに相談してよいか分からない。
- こうして欲しい。

たとえば・・・

- 年金、医療保険、老人保健・福祉
- 交通安全
- 雇用保険、労災保険
- 登記事務
- 道路
- 生活衛生
- 消費者保護

◆ 行政苦情 110 番 ◆
0570-090110

全国どこからでもこのダイヤルで、最寄りの管区行政評価局・行政評価事務所にご相談に応じます。

5月19日(火)に行政相談所を開設します

年に2回、市内の施設で行政相談所を開設し、総務大臣から委嘱を受けた2人の行政相談委員が皆さんからの相談に応じています。相談日以外は、直接電話での相談にも応じています。

こまつさきまさえ
小松崎正衛相談委員

- ◆ 相談所
10:00～15:00
(あじさい館研修室2)
- ◆ 自宅 ☎ 029-896-0283

おくらまさお
小倉征夫相談委員

- ◆ 相談所
・ 10:00～11:30
(千代田庁舎2階第2会議室)
・ 13:30～15:00
(働く女性の家2階相談室)
- ◆ 自宅 ☎ 0299-59-3560



問い合わせは 広聴広報課 ☎内線 1152

図書館だより 事業のご案内



ミニ文庫設置場所

- ・ 中央出張所 約800冊
- ・ 志筑郵便局 約120冊
- ・ 七会郵便局 約80冊
- ・ 新治郵便局 約120冊
- ・ 下稲吉郵便局 約160冊

地域に広がる読書空間

「ミニ文庫」をご利用ください！

千代田地区では郵便局や一部の公共施設に図書スペースを設け、市民の皆さんへ図書の貸し出しを行なっています。

図書は、各施設に設置してある貸出簿に必要な事項を記入することでお貸しすることができます。返却する場合は、借り受けた施設に直接返却し、貸出簿に返却日を記入してください。

- 貸出期間：15日以内
- 貸出冊数：1人5冊以内

年に2回図書の入れ替えを行なっています。



閩市立図書館千代田分館 ☎ 0299-59-5252

インターネット 図書検索

★★★借りたい本や資料を携帯やパソコンから検索できます★★★

市ホームページ下段の「かすみがうら市立図書館」を開き、「図書検索」画面からご覧になれます。借りたい本が貸し出し中だった場合、あらかじめ図書館などで登録をしておく、「図書検索」画面から引き続き予約をすることができます。



携帯電話用
QRコード

市長随想

13

人の力

桜の開花とともに春本番を迎え、四季のある日本の自然のすばらしさを実感する時期でもある。

このたび、21人の市職員が勇退し、8人のフレッシュな新採職員を迎え、平成21年度の市政がスタートした。職員削減など大幅な行政改革を進めながら、効率的な行政運営に努めているところだが、ここに来て年代層の人材補充の立場から、少しずつ採用を始めたところがある。

組織は「人の力で支え」、事業は「人の力で進める」ものであり、人カこそが最大の戦力であることはいうまでもない。同時に、市役所という団体は私たち市民が市の主人公であり、職員はいわば市の従業員であろう。行政の仕事は住民生活の向上など多岐にわたっているが、市の事業方針や予算(お金の使い方)は、すべて市民の代表の

議会において、民主的な議論を経て決定しているのである。

近頃の風潮はマスコミを中心に公務員バッシングであり、公批判は耳障りもよく市民受けするが、果たしてそれだけでよいのだろうかと感じている。特に中央省庁などには無駄な組織や人が多い面もあるし、改革は必要であろう。公僕としての使命、経営的意識改革も必要である。

しかしながら、現在、市役所に入ってくる職員は、高い競争率の中を突破してきた優れた人材であるし、多様な市民の要望に反論もしないで、よく働いていることも評価しなければならぬ。

これからのまちづくりは、これまでのように財政(お金)だけに頼ってられない時代になりつつある。職員の持てる能力を十分に発揮し、知恵とアイデアを出して汗して働くことこそ、市の貴重な財産になっていく。市民の皆様にも職員を激励し、勇気を与え、育てたいと願っている。

かすみがうら市長 坪井 透